

## JRA-VAN 競馬ソフト作成体験教室

### ・ 開発環境を整備する

当コーナーでは、「JRA-VAN Data Lab.」サービス対応の競馬ソフトを作成していくための環境設定を解説していきます。

ここでは、「JV-Link」を Visual C++ 6.0 で使用できるように環境設定を行ないます。

なお、当コーナーで使用している環境は Visual C++ 6.0 (Professional Edition)です。そのため、画面等がお使いの環境と多少異なる場合がございますので、予めご了承ください。

#### 【 今回の目標 】

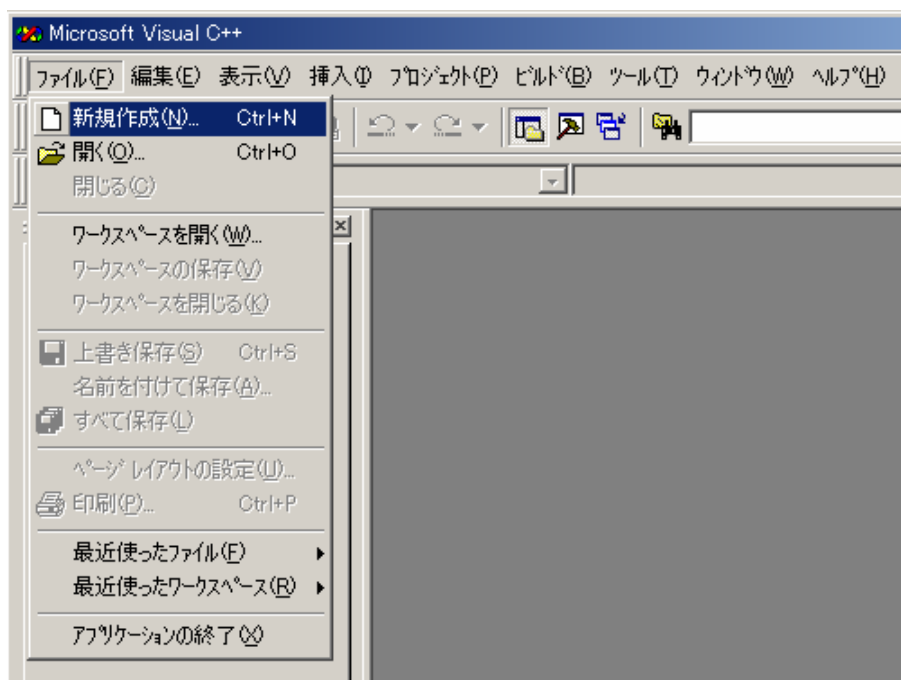
プロジェクトで JV-Link を使用できるように設定する。

#### 【 やってみよう 】

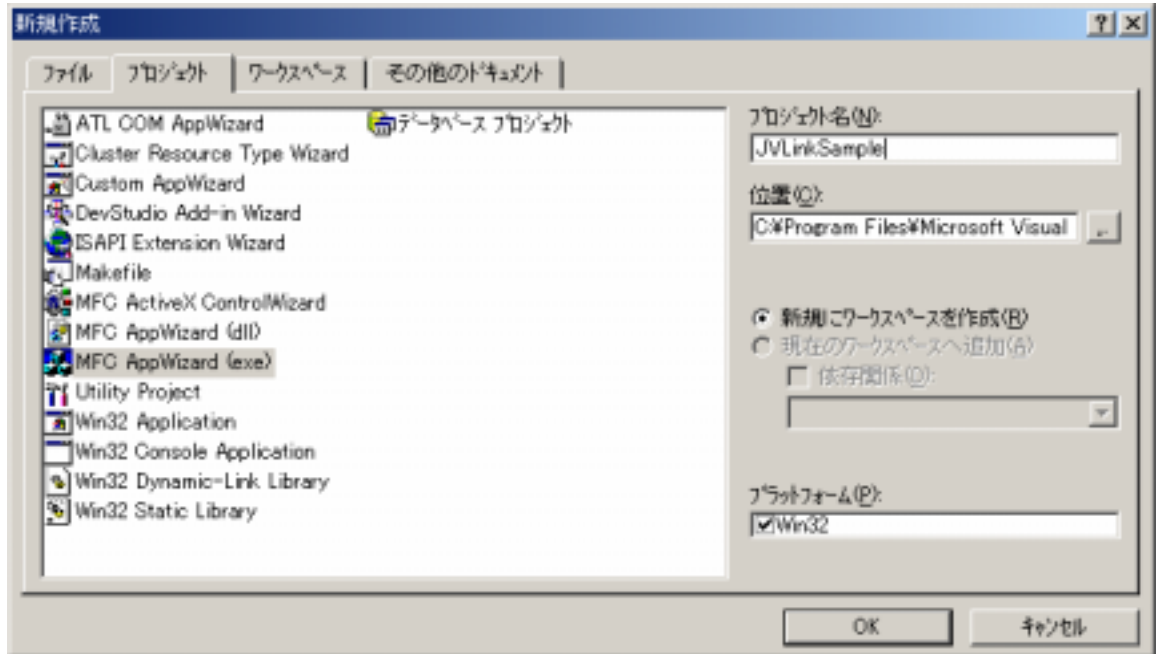
JV-Link をコントロールに追加しよう

Visual C++ 6.0 を起動する。

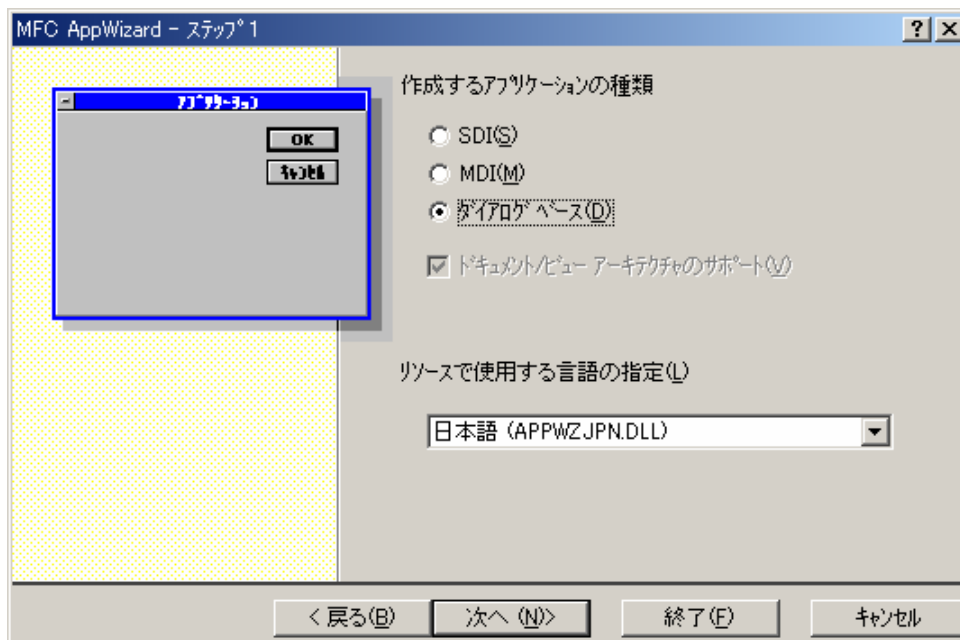
メニューの「ファイル」 「新規作成」を選択する。



「プロジェクト」の「MFC AppWizard(exe)」を選択して「OK」ボタンをクリックする。



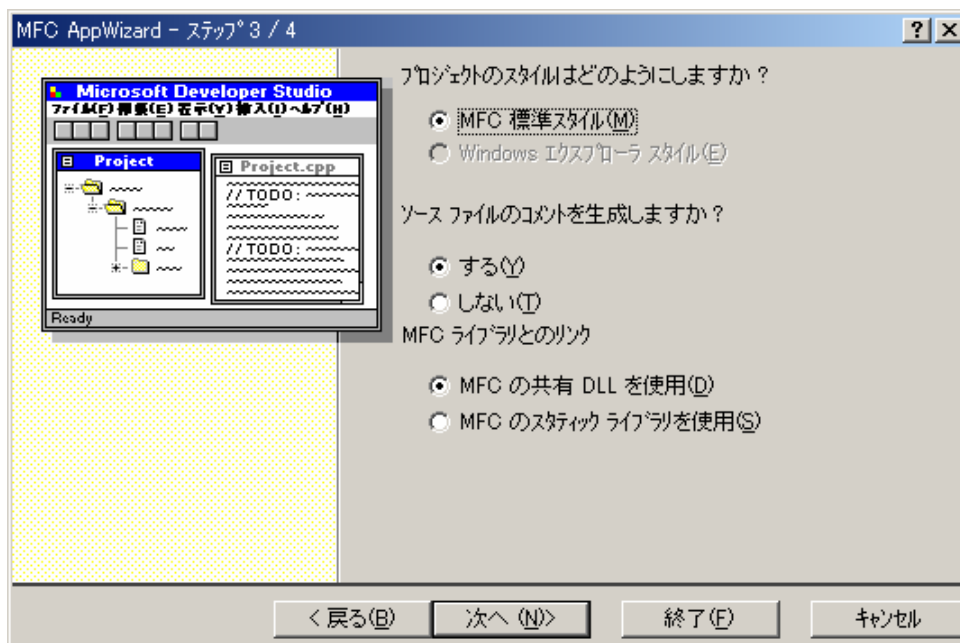
「作成するアプリケーションの種類」で「ダイアログベース」を選択して「次へ」ボタンをクリックする。



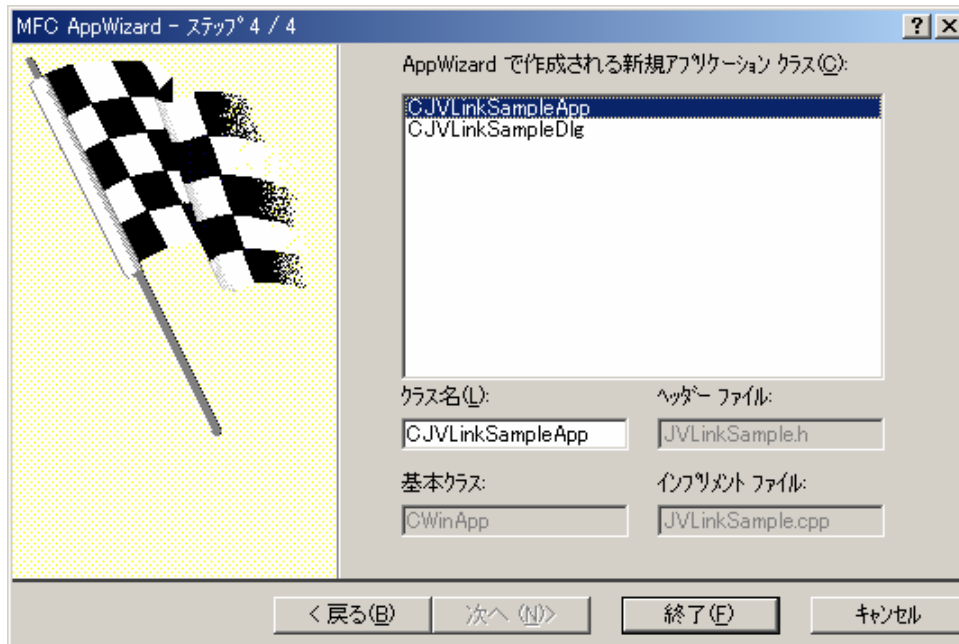
何も変更せずに「次へ」ボタンをクリックする。



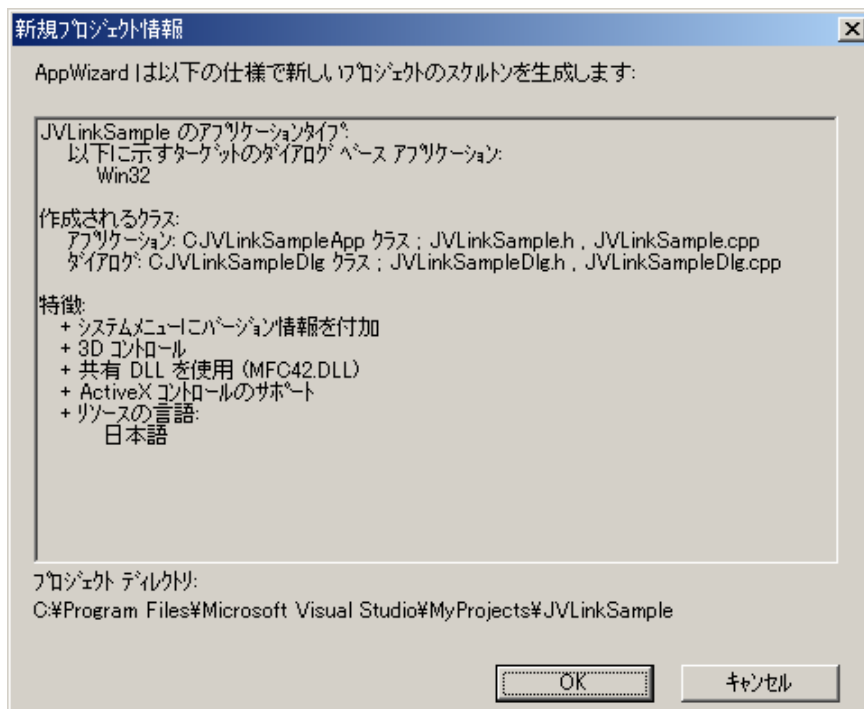
確認画面で「はい」をクリックする。



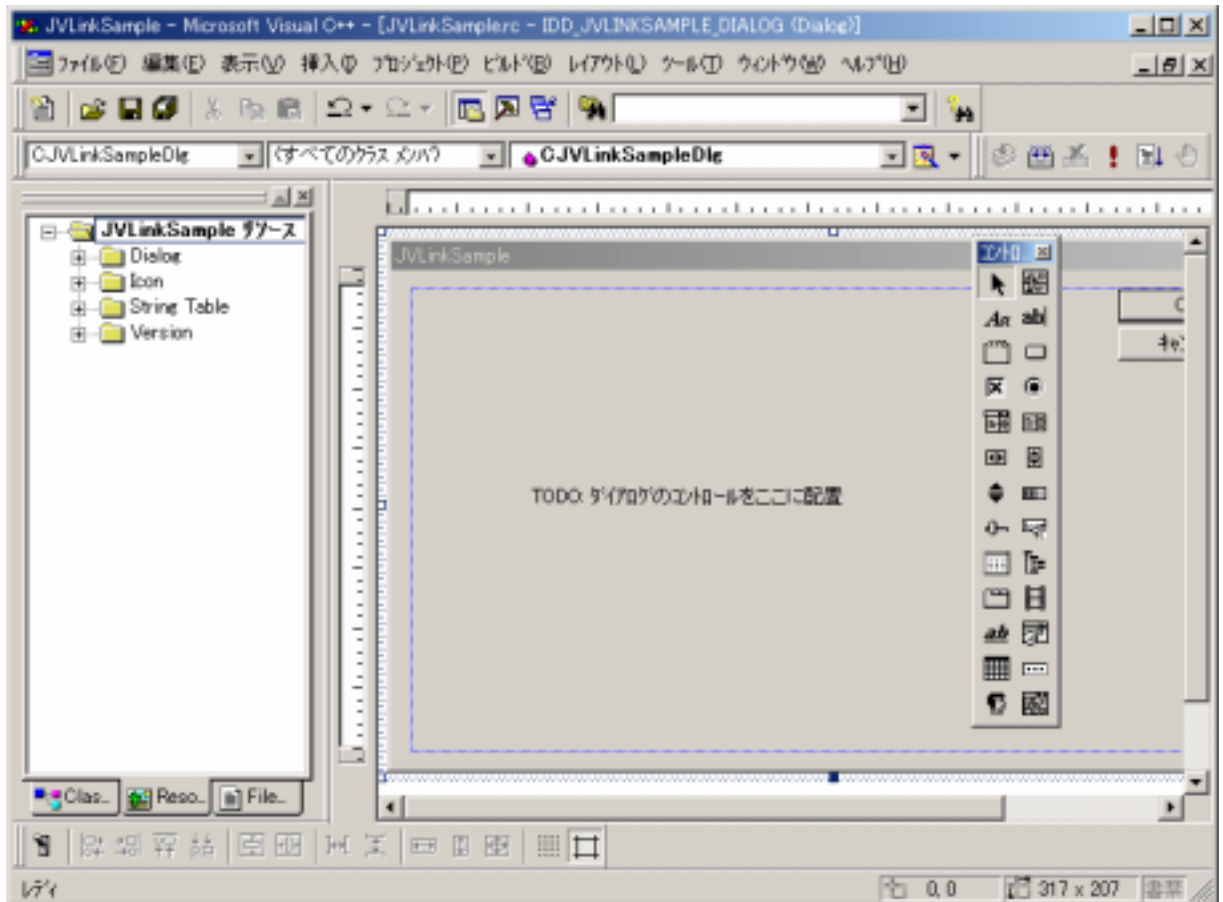
「終了」ボタンをクリックする。



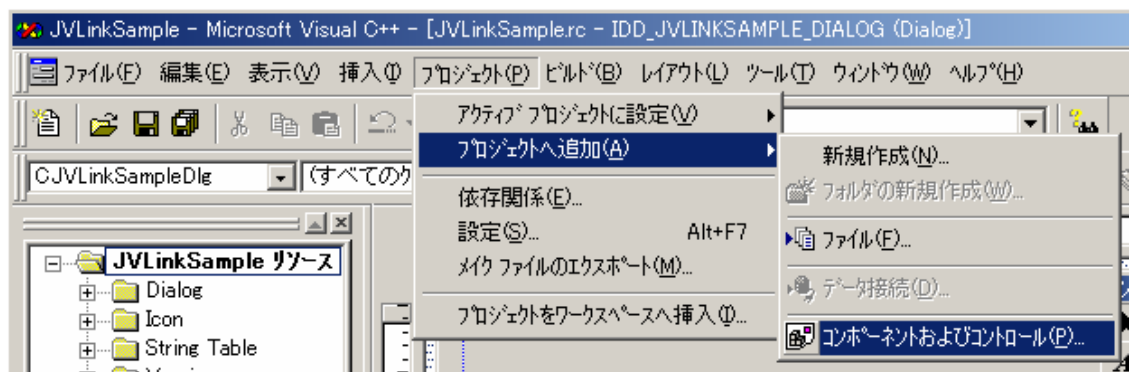
「OK」ボタンをクリックしてダイアログを閉じる。



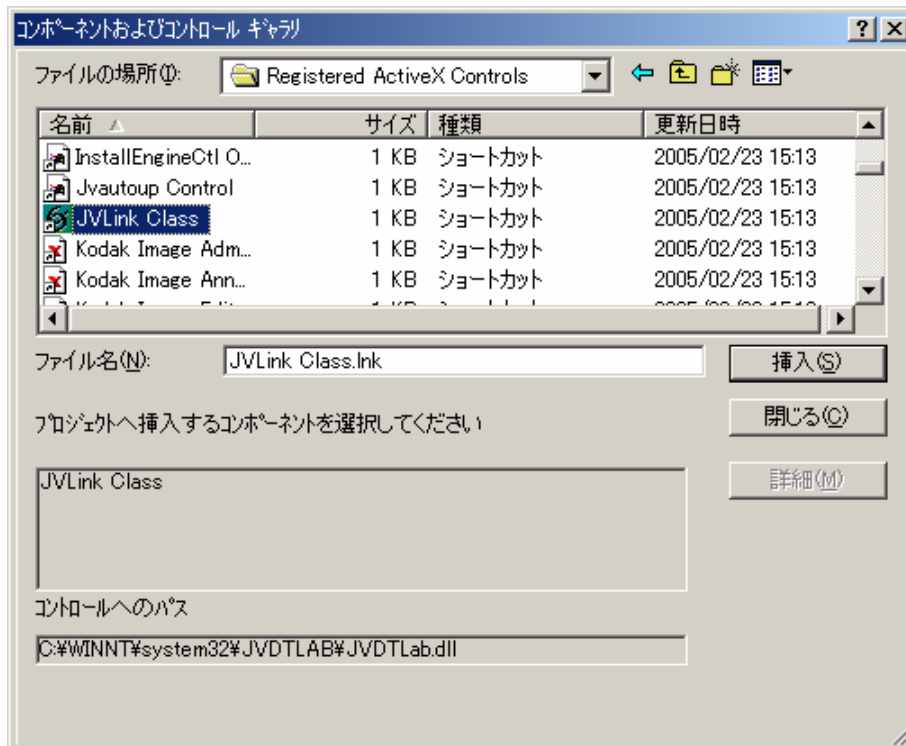
次のフォームが表示される。



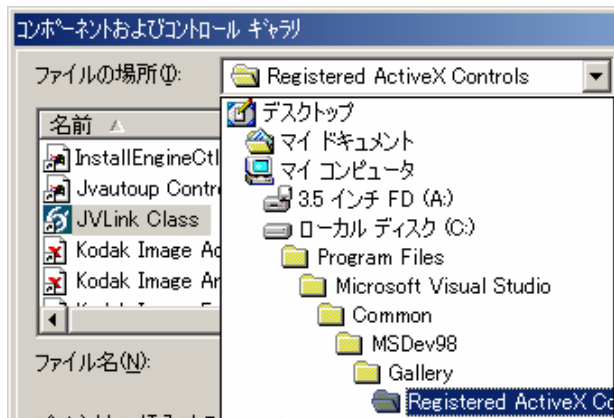
「プロジェクト」 「プロジェクトへ追加」 「コンポーネントおよびコントロール」  
を選択する。



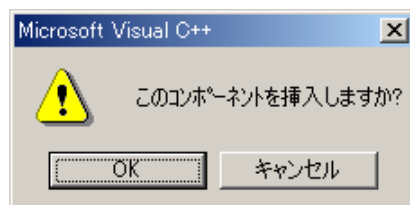
「JVLink Class」を選択して「挿入」ボタンをクリックする。



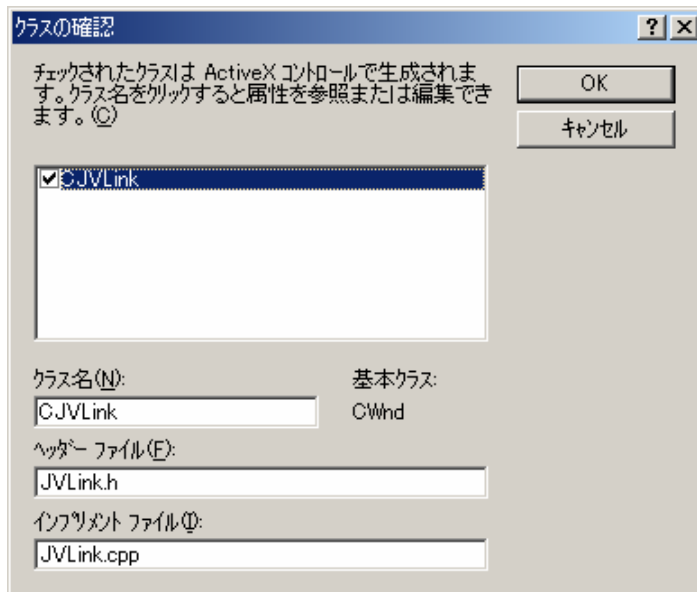
「JVLink Class」は[Program Files]-[Microsoft Visual Studio]-[Common]-[MSDev98]-[Gallery]-[Registered ActiveX Controls]にあります。



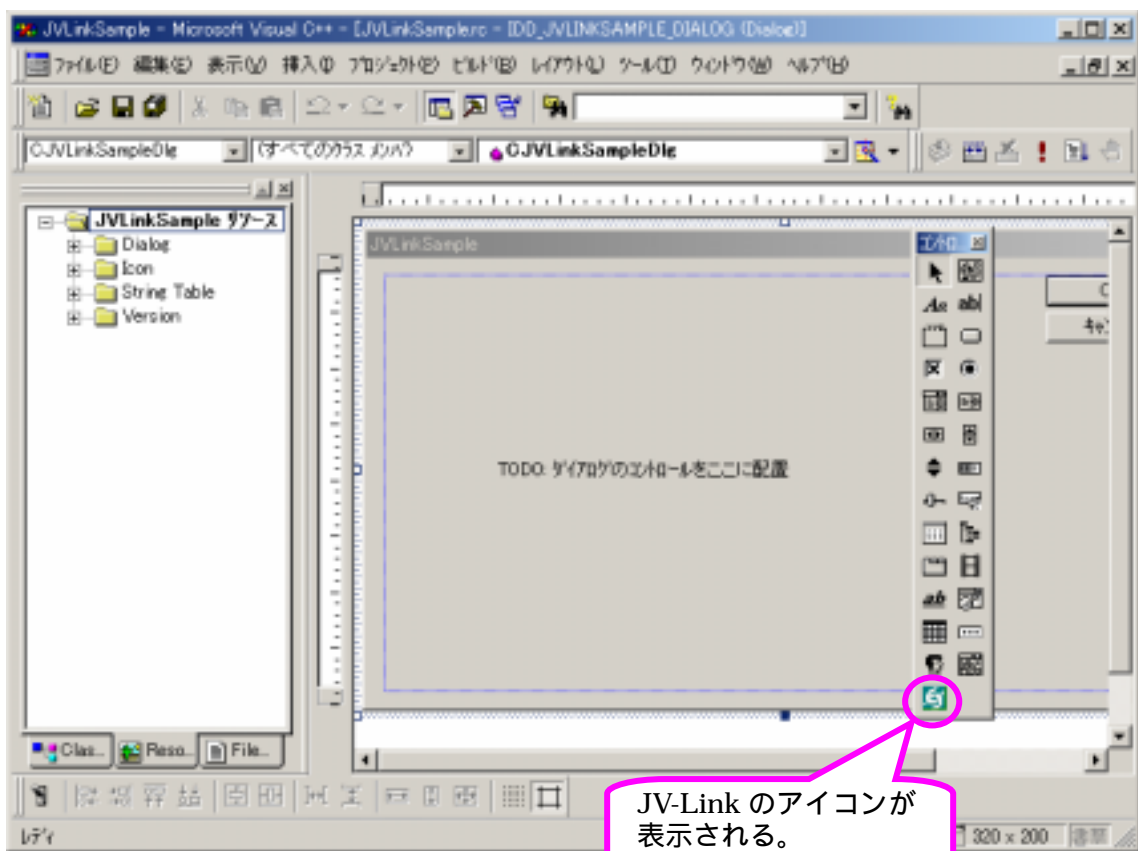
「OK」ボタンをクリックしてダイアログを閉じる。



「OK」ボタンをクリックしてダイアログを閉じる。 の画面に戻るので、「閉じる」をクリックしてダイアログを閉じる。



コントロールに JV-Link のアイコンが表示されたことを確認する。



【 確認しよう 】

フォームに JV-Link を貼り付けることができれば、今回の目標は達成です。

